



営農NEWS



促成ピーマンでのハダニ類、アザミウマ類、タバココナジラミ、うどんこ病などを防除しましょう

県病害虫防除所の「病害虫発生予報 11 月号」によりますと、促成ピーマンでのハダニ類の発生量は平年より多く、アザミウマ類およびタバココナジラミは平年よりやや多く、うどんこ病は平年並と予想されています。

これらの病害虫は、多発生しますと防除がなかなか困難になりますので、少発生のうちに防除を徹底して下さい。

1 ハダニ類、アザミウマ類、タバココナジラミ

【防除のポイント】

- 1) ハウス内外の雑草（害虫類の飛来源、各種ウイルスの保毒源）を常に除去しておきましょう。
- 2) 施設内に青色や黄色粘着テープを設置し、アザミウマやコナジラミ類の誘殺密度から防除時期の目安にします。
- 3) 薬剤散布は、ハダニ類が葉裏に、アザミウマ類が花や蕾、新芽等の中に生息していることが多いため、整枝剪定の後など薬液が生息場所にかかりやすくなったときに、株全体へ丁寧に散布します。
- 4) 天敵昆虫を導入している圃場では、天敵への影響をメーカーや関係機関から必ず指導を受けてください。
- 5) 薬剤散布後は、防除効果を確認し、抵抗性害虫の発達を抑えるため、系統の異なる薬剤でローテーション散布します。

表 1 ピーマンのアザミウマ類の主な防除薬剤（平成 28 年 11 月 2 日現在）

対 象 害 虫			薬 剤 名	系統名	希釈倍率	使用時期／使用回数
ハダニ類	アザミウマ類	コナジラミ類				
○	○	○	モベントフロアブル	—	2,000 倍	収穫前日まで／3 回以内
○	○ミカン、ミナミ		コテツフロアブル	—	2,000 倍	収穫前日まで／2 回以内
○		○	コロマイト乳剤	マクロライド	1,000 倍	収穫前日まで／2 回以内
○			カネマイトフロアブル	—	1,000 倍	収穫前日まで／1 回
○			マイトコーネフロアブル	—	1,000 倍	収穫前日まで／1 回
○			ニッソラン水和剤	—	2,000～3,000 倍	収穫前日まで／2 回以内
	○	○	ベネピアOD	ジアミド	2,000 倍	収穫前日まで／3 回以内
	○	○	ディアナSC	スピノシン	2,500 倍 2,500～5,000 倍	収穫前日まで／2 回以内
	○ミナミ	○	ベストガード水溶剤	ネオニコチノイド	1,000～2,000 倍	収穫前日まで／3 回以内

注）表 1 の対象害虫アザミウマ類の欄で、ミカンはミカンキイロアザミウマ、ミナミはミナミキイロアザミウマを略しました。

2 うどんこ病

【防除のポイント】

- 1) 施設内の通風、採光を良好にするため適正な整枝剪定を行い、換気を適切に行って適度な温湿度の圃場環境を保つように努めます。なお、日照不足が続く場合は、予防散布を行いましょう。
- 2) 発病葉や被害落葉は伝染源になりますので、丁寧に圃場外に持ち出し、適切に処分した後に、薬剤防除を行います。
- 3) 天敵昆虫を導入している圃場では、天敵への影響をメーカーや関係機関から必ず指導を受けてください。
- 4) 薬剤散布後は、防除効果を確認し、耐性菌の発達を抑えるため、系統の異なる薬剤でローテーション散布します。

表 2 ピーマンうどんこ病の主な防除薬剤（平成 28 年 11 月 2 日現在）

薬 剤 名	系統名	希釈倍率	使用時期／使用回数
パンチョTF顆粒水和剤	E B I + アミドキシム	2,000 倍	収穫前日まで／2 回以内
ラリー水和剤	E B I	4,000～6,000 倍	収穫前日まで／4 回以内
ダコニール 1000	有機塩素	1,000 倍	収穫前日まで／3 回以内
モレスタン水和剤	キノキサリン	2,000～3,000 倍	収穫前日まで／3 回以内
アフェットフロアブル	アニライド	2,000～4,000 倍	収穫前日まで／3 回以内
カスミンボルドー	抗生物質＋無機銅	1,000 倍	収穫前日まで／5 回以内

※ 表 2 の他に、硫黄粒剤のくん煙処理があります。この場合には専用の電機加熱式くん煙器を利用してください。

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※ J A 全農いばらきホームページでもご覧になれます。



生産資材部 営農企画課 SC

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040